

高校生議会にかかる実現した提案

質問年度	質問概要	答弁内容	取組結果
H28	「カーブミラーの曇り止め対策」		曇り止め効果のあるミラーに交換した。
R1	「JR新三田駅のゴミのポイ捨て禁止啓発」 ①ポイ捨て防止のためには啓発看板を設置すべき。 ②ゴミ箱が無いからポイ捨てをする。そのためにはゴミ箱を設置すべき。	①目につきやすい場所にポイ捨て禁止の看板を設置する。 ②ゴミの持ち帰りを促すため、ゴミ箱は設置しないが、マナー向上の啓発看板を設置する。	①目の付きやすい所の3箇所ポイ捨て禁止看板を設置した。 ②ゴミの持ち帰り啓発看板を3箇所設置した。
R1	「カーブミラーの増設」 カーブ進入時に減速や目視だけではすべての事故は防げないので何か対策はあるか。	カーブミラーの設置にはかなり経費がかかる。比較的lowコストな啓発看板の設置を検討する。	啓発看板(電柱巻き看板)を設置し、注意喚起を図った。
R2	「若者の投票率アップの取り組み」 「さんだ未来トーク」の若者バージョンとして、コロナ禍でも実施できるようオンラインを活用し、市議と三田について語り合う場を設けてはどうか。	オンライン開催について、市議会に提案していく。	「さんだ未来トーク」をオンラインで実施できるようにした。
R2	「自転車の交通ルールの周知啓発」 自転車を安全に楽しく利用するために、①効果的な講習会の実施、②自転車の正しい利用の看板、③おすすめコースの看板を設置をどうするか。	①現在も交通安全教室や街頭啓発は実施しており、特に昨年度はスタントマンによる交通安全教室を実施した。 ②自転車の正しい利用の看板は視認性の課題がある。 ③サイクリングコースの看板については検討している。	③サイクリングコースの看板は今後進めていく。
R2	「キッピーファミリーの知名度アップ」 ①キャラクターの改良 ②幼稚園行事等への参加	①リニューアルはしない。 ②コロナでできていないが、デザイン活用や貸し出し方法について周知する。	②インターネットでの利用申請ができるようにした。

R3	<p>「将来の夢の実現について」 色々な場所に行き人と出会いたくさんの経験をしたい。 外食をしておいしいものを食べたい。（嚙下が難しい人でも外食できるようにきざみ食やペースト食に調理してくれる店が増えてほしい）</p>	<p>共生社会の実現が必要。必要な社会資源を確保し、適切な支援を提供できるよう関係各所と連携し、安心して暮らせるまちづくりを目指す。障害がある方への合理的配慮が民間事業者にも義務づけされた。理解促進に向けて周知啓発を行う。</p>	<p>三田キッピー食堂で液状にするなど二次調理されたメニューを堪能した。 （市民団体の協力による）</p>
R3	<p>「パートナーシップ宣誓制度について」 子どもを含む家族の関係を証明する「ファミリーシップ制度」など、宣誓者の権利拡大を目指す条例の制定を提案する。</p>	<p>ファミリーシップ制度については、阪神間の7市1町の連絡会などを通じて他市と情報交換しながら、望ましい制度設計に向けて研究していく。条例の制定については、当面は現行制度の検証を行いながら、より当事者の利便性が向上するよう規定の拡充、見直しを進める。</p>	<p>令和5年7月1日からパートナーシップ宣誓制度を拡充し、その範囲を親と子にまで拡大したファミリーシップ宣誓制度を導入する。</p>
R3	<p>「青少年のネットトラブル」 インターネットトラブルから幼い子どもを守るために学校だけでなく三田市全体として教育活動を行っていく必要がある。</p>	<p>市や学校、各種団体等が連携・協力しながら、それぞれの役割や専門性を踏まえた周知・啓発に取り組む。より多くの方に関心を持って参加してもらえるように啓発や講座の内容には、分かりやすく具体的な事例を取り上げ、インターネット上のトラブルや危険性を身近な問題として感じてもらえるよう工夫する。子ども達の安全・安心のもと、三田市全体で情報化社会に適応した子どもたちを育てていく。</p>	<p>令和4年度、青少年問題協議会の議題として「ネットトラブルから子どもを守る」取組みの強化について協議。 令和4年2月に学校・警察・補導員の連絡会において講演会を実施。</p>
R4	<p>「三田市のSDGsの取り組みについて」 三田市がSDGsの達成に向けた取り組みを提案する「SDGs未来都市」に選出されるような市になってほしい。</p>	<p>魅力あふれる「SDGs未来都市」へ選出されるような賑わいと活力のあるまちを目指していく。</p>	<p>令和5年5月22日付SDGs未来都市に選定。</p>